

一枚の絵葉書から 石井敏夫コレクションより

第66回

絵葉書封筒



宇都宮名所彙はがき(星野屋)



宇都宮名勝(星野屋)

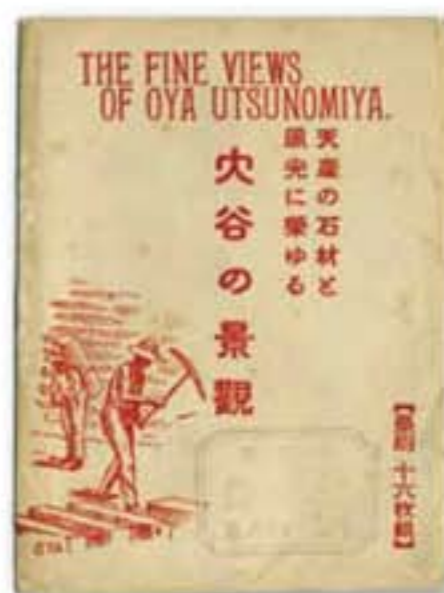
絵葉書の風景が多種多様であるとともに、絵葉書を保護する封筒の意匠もまたさまざまである。どうかすると、絵葉書ばかりに目を捉えがちになるが、封筒にもそれぞれ個性があり、趣深い。時代を感じさせられるものばかりだ。

また、封筒の作りも単なる袋型の物から、組絵葉書そのものを郵送できるように差出人の記入欄がある物、二つ折でポケットが付いた厚紙の物など種々さまざま。色づかいも単色の物から多色刷り、金銀の箔押しまで変化に富んでいる。解説文が袋の内側に印刷されている物もあった。

しかし、封筒は絵葉書を包むためのパッケージ的な要素に終始するため、使用後は処分されることも多く、封筒と絵葉書が完全な組で保存されていることは少ない。コレクションとして売買されている絵葉書の多くが単品で、組絵葉書の全容を解析することは至難の業だ。



宇都宮二荒山神社絵葉書
(宇都宮二荒山神社社務所)



大谷の景観(星野屋)



宇都宮の景観(HAMADA)